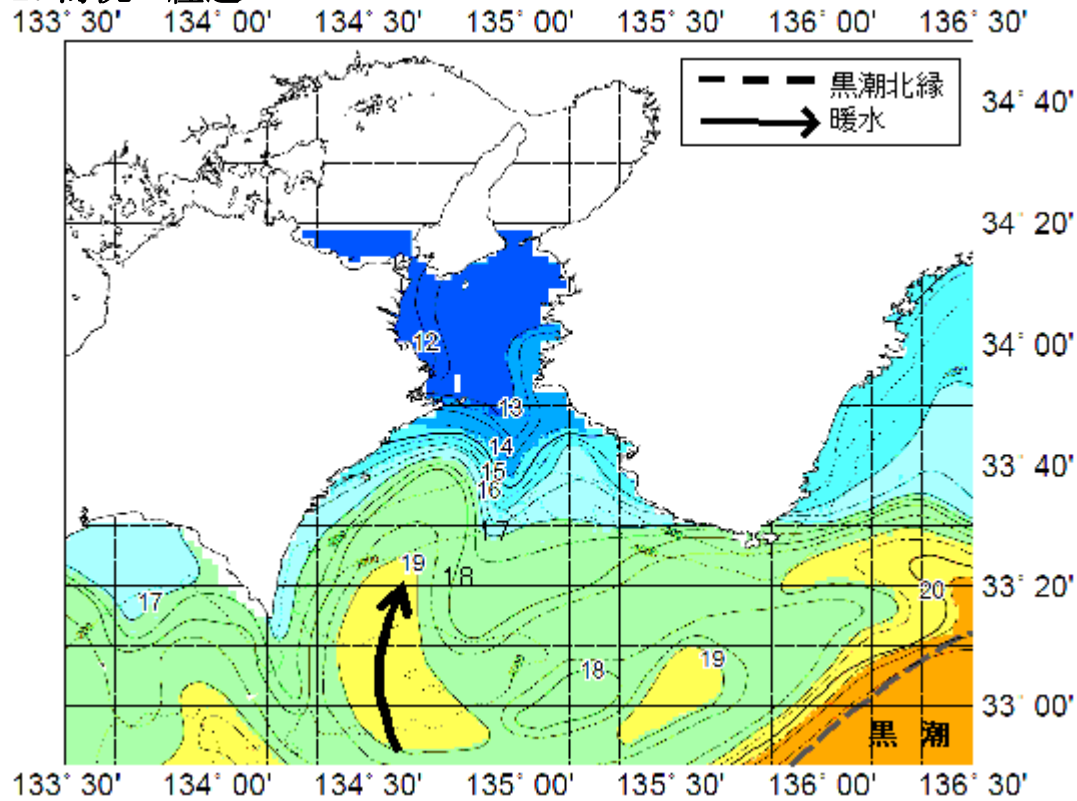


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.4.6)を示した。

黒潮は、室戸岬沖と潮岬沖でやや離岸している。室戸岬と潮岬間で、小蛇行が見られる。室戸岬以西の黒潮は、足摺岬沖と都井岬沖でやや離岸している。

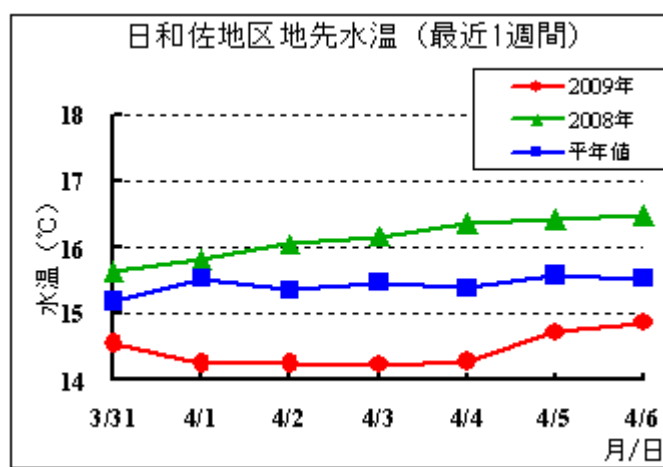
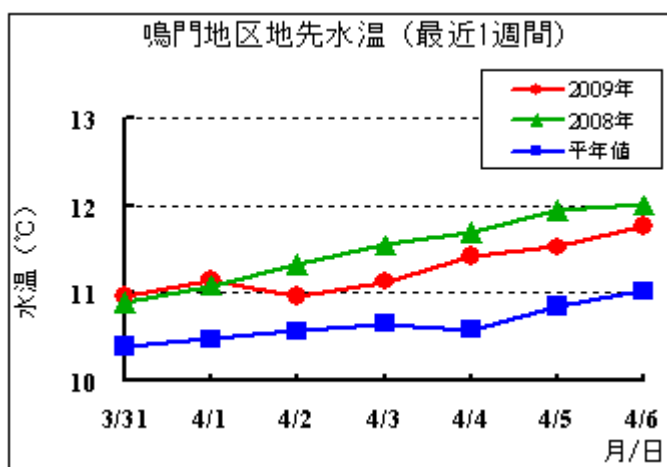
黒潮本流の表面水温は21～22℃台である。

表面水温は播磨灘が11℃台、紀伊水道が11～13℃台、外域が13～18℃台である。

紀伊水道外域では、室戸岬沖から海部沿岸に沿って暖水が流入している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の10.8～11.8℃、日和佐地区は「やや低め」の14.2～14.9℃、牟岐地区は「低め」～「平年並み」の13.6～15.4℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、ウルメイワシが1.4トン(1日1隻当たり46kg)、カタクチイワシが2.6トン(同62kg)、キビナゴが1.1トン(同49kg)、スルメイカが0.2トン(同11kg)、中主体にマアジが0.4トン(同21kg)、マイワシが0.5トン(同42kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.8トン(同59kg)、中主体にイボダイが0.9トン(同67kg)、小主体にサバフグが0.6トン(同191kg)、中主体にハマチが8.2トン(同546kg)、ブリが19.8トン(同944kg)、大・小小主体にマアジが3.2トン(同295kg)、小小主体にマルアジが0.4トン(同48kg)、メジロが3.8トン(同182kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、中主体にゴマサバが0.4トン(同8kg)、大主体にタチウオが0.4トン(同29kg)、特大・大主体にマサバが1.2トン(同20kg)、紀伊水道で特大主体にタチウオが0.4トン(同46kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 3月30日～4月5日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網		ウルメイワシ	30	1,368	46	
		カタクチイワシ	41	2,556	62	
		キビナゴ	22	1,071	49	
		スルメイカ	22	238	11	
		マアジ	17	365	21	中主体
		マイワシ	11	466	42	
大型定置網	海部沿岸	アオリイカ	13	766	59	大主体
		イボダイ	13	867	67	中主体
		サバフグ	3	572	191	小主体
		ハマチ	15	8,183	546	中主体
		ブリ	21	19,830	944	
		マアジ	11	3,245	295	大・小小主体
		マルアジ	8	382	48	小小主体
		メジロ	21	3,815	182	
釣り		ゴマサバ	49	373	8	中主体
		タチウオ	14	411	29	大主体
		マサバ	59	1,187	20	特大・大主体
		紀伊水道	タチウオ	8	370	46

週間予報:

黒潮は、室戸岬と潮岬でやや離岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の11℃台後半、日和佐地先で「やや低め」～「平年並み」の15℃台前半で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄釣りで、カツオが30.3トン(1日1隻あたり29kg)、ビンナガが7.6トン(同7kg)、定置網で、ブリが8.8トン(同1.0トン)、ワラサが3.2トン(同357kg)、マアジが3.6トン(同403kg)、釣りでサバが0.4トン(同7kg)、イサキは1.1トン(同17kg)、パッチ網でシラスが10.6トン(同235kg)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上